

忍中学校だより

風さわやかに

平成28年12月14日

生徒数 1年112名 2年122名 3年131名 計365名

行田市立忍中学校

TEL 048-554-9371

FAX 048-554-9558

冬休みこそ“読書の勧め”

間もなく楽しい冬休み。今年の冬休みは祝日の関係で12月23日から1月9日までの18日間。例年になく長期間になります。3年生は受験勉強、1、2年生は部活動も予定されていますが、年末年始など自由に使える時間も少なくないでしょう。そんな時、読書はいかがでしょうか。

本を読むことは、テレビを見たり音楽を聴いたりするよりも、より積極的に頭脳を働かせる行為です。一冊の本との出会いが、将来の生き方の指針になることもあります。私は、好きな作家（池波正太郎・東野圭吾・三浦しをん）の本のページをめくる度に、知識の海に船をこぎ出すようなワクワク感を覚えます。冬休み18日間の予定の中に、ぜひ読書の時間を設定してみてください。本校の図書館では冬休み期間いっぱい、一人3冊まで借りられるそうです。



年末・年始

四月の熊本地震の被害に涙し
リオ・オリンピックの日本選手
の活躍に胸を躍らせ
十一月の積雪に驚いた今年も
間もなく終わろうとしている



大晦日から新年
にかけて撞かれ
るのが除夜の鐘
除夜とは旧年を
取り去る日の夜
を指す
人は百八つの煩惱を持っている
のでそれを突き崩すために鐘を
撞くという
百七つの鐘は旧年中に
最後の一回は新年に打ち鳴らす
新しい年が煩惱に煩わされ
ないように願うから
除夜の鐘を聞きながらの年越し
は古くからの日本の風景

明けた元日の朝は心さわやかに
迎えたい
平成二十九年は百年
初夢は忍中生が来年も大鳥のよ
うに羽ばたく姿を

田口 範幸

1年働く人から学ぶ会



12月1日（木）に講師の方8名をお招きして、1年生が「働く人から学ぶ会」を開催しました。当日は分科会形式で行い、多様な職業での実際の体験談を聞いて、仕事の内容を質問したり、生徒からの感想を発表する場となりました。また、講師の方からは「生徒の熱心さに時間を忘れた。うちの職場で職場体験を！」など、たくさんのお褒めのことばをいただきました。

忍中ホームページ・リニューアル！

本校では70周年の取組の一環として、この度ホームページをリニューアルいたしました！



本校の新しいホームページは、「忍中学校」(アドレス: //www.oshichu.ed.jp/) で簡単に検索できます。学校だよりやスクールライフ、お知らせなど、最新の情報を随時アップしております。スマートフォンにも対応しておりますのでご覧ください。

生徒会本部発足

12月5日（月）生徒会役員引継ぎ式が行われました。半田前会長より江黒新会長へ校旗が手渡され、新生徒会がスタートしました。新役員は以下の通りです。

- ・会長 江黒 来夢
- ・副会長 安東 春樹
- ・書記 岡田 虹来
- ・広報 荻野 なぎさ
- ・会計 鈴木 淳太
- 長嶋 希芽
- 清水 宙
- 若山みなみ
- 市川 叶歩



タスキへの思い・心ひとつ 浮き城のまち行田駅伝大会



12月4日（日）、第60回行田市駅伝大会が行田市総合公園で行われました。本校からは、野球部、サッカー部、男女バスケット部、女子陸上部、そして教員チームが参加しました。どのチームも次走者へタスキを渡すまで力走り、それぞれの絆を深めた1日になりました。結果はサッカー部Cと教員チームが3位入賞を果たしました。

12.1月の予定

日	曜	行事・授業予定	日	曜	行事・授業予定
16	金	第2回学校評議員会 短縮5時間授業	1	日	元日
17	土		2	月	休日
18	日		3	火	休日
19	月		4	水	
20	火		5	木	
21	水	大掃除・給食終了	6	金	
22	木	終業式・表彰(式・学活・学活)	7	土	行田市消防出初式
23	金	天皇誕生日	8	日	
24	土		9	月	成人の日
25	日	冬季休業日	10	火	始業式
26	月		11	水	避難訓練・給食開始・1年スキー健康診断
27	火		12	木	交通安全指導・生徒会専門委員会
28	水	仕事納め	13	金	
29	木	休日	14	土	
30	金	休日	15	日	
31	土	休日	16	月	

職業体験 3日間頑張りました。 2学年: 11/29~12/1

11月29日（火）から12月1日（木）までの3日間、2年生が、地域の方のご協力のもと35事業所で「中学生社会体験チャレンジ事業」を実施しました。今回の職場体験を通し①正しい職業観、勤労観を育む ②将来の進路設定に役立つ ③自分を見つめ、これからの生き方、在り方を考えさせる ことなどを目的として行いました。



生徒たちの3日間の体験の感想に“素晴らしい時間を過ごせた。” 将来、体験した仕事に就きたい。” 新しい発見がたくさんあった。” など、職業体験の喜びとお世話になった方々への『感謝のことば』が多くあったのが、一番の成果だと感じます。今回の体験を、生徒たちの今後の学校生活に活かせるよう支援してまいります。

